

## 見聞録

## 「FC EXPO 2010」見聞録

鈴木 讓

株式会社 鈴木商館 豊田事業所  
〒470-0334 愛知県豊田市花本町井前 129-2

今回で6回目となるFC EXPO が2010年3月3日から3月5日まで東京ビッグサイトで開催されました。今回も水素エネルギー協会は共催という形でFC EXPO の開催を支援いたしました。今回はPV EXPO とさらに二次電池展、加工技術展、太陽光発電システム施工展も同時開催となりました。今回はFC EXPO だけで見ると昨年の473社よりもかなり出展企業等は少なかったと思います。入り口のレジストレーションカウンターは燃料電池、太陽電池、二次電池各展示会それぞれ別々ですし、入場券・招待券もそれぞれ別になっておるのですが・・・私と同じ失敗をした方もいらしたのでは？私は一通り見てやろうとそれぞれレジストレーションを手回し良く（初めはそう思っていた）済ませ意気揚々と入場パスを3通り首から下げて会場に入りました。しかし徐々に実情が分かって恥ずかしい思いをして2枚のパスを人目に付かないように外す羽目になってしまいました。実は中は全ての展示会つながっておりどの入場パスでも全部が見られる仕組みになっていたのです！

会期中の来場者は、今回より5展示会合算での発表となり80,045人ともものすごい来場者数となったそうです。今回外国の出展パビリオンもアメリカ、カナダ、台湾、ドイツ、フィンランド、フランスと多数ありました。台湾が国を挙げて燃料電池開発に力を入れている状況は、感心すると同時に半導体産業の時のように脅威すら感じる勢いが感じられました。ドイツパビリオンはベーグルをランチタイムに配ったり、夕方はドイツビールを配つ



写真1. アメリカパビリオン付近風景

たりとお祭り騒ぎもあり人出が途切れないパビリオンでした。

今回もテレビコマーシャルでも頻りに流されすっかり国民のほとんどのに浸

透した家庭用燃料電池システム「エネファーム」が大々的に展示されていました。官民挙げてのエネファーム振興は十分に功を奏しているようです。

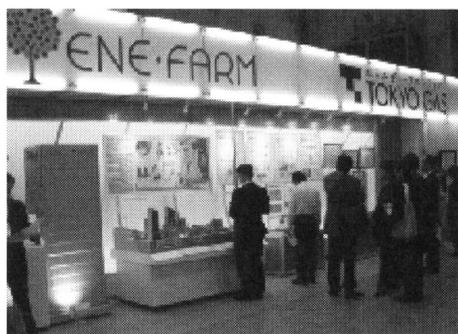


写真2. 東京ガスブースのエネファーム展示

福岡パビリオンも大変大きなブースを構え福岡水素エネルギー戦略会議、九州大学水素エネルギー国際研究センター、産総研水素材料先端科学研究センター等々が展示と活発な説明を行っていました。同パビリオンには2010年4月正式オープン of 公益財団法人水素エネルギー製品研究試験センターも出展しており、渡邊正五理事長自ら説明にあたられていました。



写真3. 水素エネルギー製品研究試験センター完成模型

大企業や海外のパビリオンと比較すると地味ではあるが、経済産業省の主催の中小ベンチャー企業等支援機関パビリオンや、FC アカデミックフォーラムのブースでは地道な活動や研究成果が展示発表されていました。



写真 4. 中小ベンチャー企業等支援機関パビリオンの青森産業技術センターブース



写真5. FC アカデミックフォーラム

今回カナダパビリオンは少し規模縮小のように見受けられました。バラード社を取り巻く状況が影響しているのでしょうか。しかし、カナダパビリオンの一番の売りはやはりバラードでありケベックであるのは変わらないようです。



写真6. FC EXPO2010 のカナダパビリオン

展示会運営のリード エグジビションジャパン(株)の発表ですと海外 66 カ国から 6,083 人が来場したそうです。

そのトップ 3 は韓国 2,241 人、台湾 1,128 人、中国 826 人との事で半導体同様、韓台中は燃料電池、太陽電池、二次電池開発でも世界をリードしようとしている様子です。運営側の努力ももちろんありましようが、ここに来

れば現在最新のものから次世代の技術まで電池関連技術が一通り分かり、更にビジネスの商談まで出来る仕組みが出来ている事から大挙して海外から人が押し寄せるのも理解出来ます。この様に展示会を合同で開催し機能も充実させた事は十分に評価に値するものです。しかし、私のように全部じっくり見てやるぞと初日、朝から勇んでのり込んだ者でも結論から言えば全部見切れませんでした。規模が大きすぎる、人が多すぎる、3 日間の開催期間が短すぎるというところが正直な感想でした。

セミナーと講演に関しても合同展示会となり出展者セミナーが 33 件、その他それぞれ基調講演があり特別合同基調講演ありと盛りだくさんの内容でした。

今回も水素エネルギー協会は出展ブースを FC EXPO 会場入り口すぐの好立地に確保していただきました。

運営組織説明パネル、出版物紹介、協会説明パンフレットの配布など PR をさせていただきました。今年は海外からの入場者が多かったせいか、英文の水素エネルギー協会パンフレットは無いかと訪れる外国の方も多かった様に思います。残念な事に、実は英文パンフレットは用意していなかったのです。来年までには何とかしなければいけません。食べ物や飲み物を配る例の華やかなドイツパビリオンの前で、地味な展示物で頑張った下さった事務局の米富さんに今年も感謝致します。



写真7. FC EXPO2010 水素エネルギー協会ブース

◆FC EXPO2011 第7回【国際】水素・燃料電池展 (HESS 共催) は、2011年3月2日(水)～4日(金)、東京ビッグサイトにて開催されます。